

1 2月議会市長所信表明

本年10月18日執行の蒲郡市長選挙におきまして、市議会議員各位、並びに、市民の皆様からの暖かいご支援・ご支持を賜わり、再選をさせて頂きました。これまで4年間の稲葉市政に対しまして、ご理解とご協力を賜わりました皆様に、心から感謝を申し上げます。

また、私の蒲郡市長職2期目の、最初の議会であります12月市議会の冒頭に、これからの蒲郡市政に取り組む、私の所信を述べさせて頂く機会を設けて頂きました、市議会議員各位に、感謝とお礼を申し述べさせて頂きまるとともに、これからの市政運営に、引き続きのご理解とご協力を賜わりますよう、お願いを申し上げます。

これから私が取り組んでいくこととしております、蒲郡市政の方向性と具体的な施策の方針であります、私の考える蒲郡市の将来の町づくりに向けての大きな目標は、「将来の蒲郡市が、夢と希望に満ちた、これまで以上に、明るく輝く、元気な町に」が、私の目指す大きな目標としているところでございます。

その大きな目標に向かっては、これまでの市職員として、また市長1期4年の知識と経験、実績を礎に、蒲郡市が抱えている課題や問題の解決に向けて取り組んでまいります。また、これらの困難を乗り越えていくためには、これまでと同様に、市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、市議会議員各位、並びに市職員と一緒に、知恵を出し、汗を流し、力を合わせ、市民の皆様が、安心して暮らせ、幸せを感じて頂ける町づくりに、全力で取り組んでいく決意であります。よろしくお願いを申し上げます。

さて、今回の市長選挙におきまして、私の目指す大きな目標に向かつての、蒲郡市の町づくりの具体的な施策として、公約、マニフェストを作成いたしました。これからの市政遂行のマニフェストといたしましては、3つの基本施策を柱に進めていく考えであります。

施策の柱の1つ目としましては「堅実な行財政運営」、2つ目として「産業の振興・働く場の確保」、3つ目として「安全で住みやすい、魅力ある町づくり」であります。その概要についてご説明をさせていただきます。

この中でも特に力を入れて行きたい、力点を置いて進めていきたいと考えているのは、1の堅実な行財政運営であります。

今、地方創生の取組みで「まち、ひと、しごとの総合戦略」を作っております。その中で、2060年に向けての人口予測であります。このまま行けば蒲郡市の人口は、53,000人です。その数値を、何とか人口が増える施策、人口減に歯止めをかけることで、61,000人の人口を目指して、色々な施策を進めて行こうと考えております。

今の人口の、4人に1人は減ることになります。また人口が減っても、今の人口比率ではなく、高齢者は増え、子どもや生産者層の人口は、減ってまいります。そういった将来予測を踏まえて、これからの30年先、40年先を見通した、蒲郡市の将来を見据えた、蒲郡市の身の丈にあった、行財政運営をしていかなければいけないと考えております。

また、公共施設についても、現在215ある公共施設の62%、約3分の2は、建築後30年以上の老朽化している施設ばかりであります。これらを、この先どうして行くべきか、これから10年が過ぎれば、全てが老朽化した施設となってしまうのが現状であります。

また、公共事業として道路建設であるとか、区画整理事業、下水道事業といった、施策も進めていかななくてはなりません。公共事業は、出来てから利用する方からも負担を求めていくべきという性格から、公共事業をやればやるほど借金は増えて行くのは、公共団体の財政の性質であります。

そこを何とか、公共事業は進めながら、市の借金を減らしていく、将来の子ども達に、負担を先送りしない、行財政運営をしていかななくてはいけないと考えております。

公共施設の有り方や公共事業の進め方について、市民の皆さんからのご意見を頂きながら、これからの行財政運営に取り組んでまいりたいと考えております。

次に2つ目の施策であります「産業の振興、働く場の確保」についてであります。

まずは、地場産業の振興であります、みかん、いちご、温室園芸といった農業への支援、めひかり、にぎす、アカザエビといった水産業への支援、歴史ある三河木綿を主体とした繊維産業、並びに繊維ロープの更なる振興、自動車産業を支えている鉄工業、その他の製造業といった地場産業の振興と活性化への施策を、積極的に進め、合せて、働く場の確保といたしましては、企業用地の確保と地元企業が市外に出て行かない対応、その上に、他の地域から蒲郡市に進出して頂ける企業誘致を進め、蒲郡の町がこれまで以上に、活気を感じて頂ける町づくりを進めてまいりたいと考えております。

次に、市民の皆さんが一番安心して頂ける施策としての、市民病院の安定経営であります。引き続き、医師と看護師の確保に努めてまいります。また、新たな産業への取り組みとしまして、再生医療に積極的に取り組み、再生医療に関わる事業所と市民病院との連携を密にしながら「再生医療の町、蒲郡」を目指してまいりたいと考えております。

次に3つ目の「安全で住みやすい、魅力ある町づくり」であります。魅力ある町づくりに必要な施策として、社会資本の整備、都市施設の整備の促進が必須あると考えております。そのためには、まずは、国道23号蒲郡バイパスの残り9.1キロ、国道247号中央バイパスの残事業の早

期完成に努め、また大塚金野線、国道 473 号、いわゆる鉢坂トンネルのバイパスといった、横軸の幹線道路に合わせて、縦軸の幹線道路の整備促進に取り組むとともに、蒲郡地区の港湾施設の整備を進め、これらの社会資本の整備が促進すれば、人と物の動きに変化をもたらし、これからの、蒲郡の繁栄に、必ずや貢献していくものと確信をしております。社会資本、都市施設の整備促進に、国、県に積極的に働き掛けをしていきたいと考えております。

また、将来の人口減少の歯止めをかける施策といたしまして、将来の蒲郡を担う子ども達のために保育の充実、ファミリー・サポートセンターを充実しての子育て支援、また少人数学級を継続して、教育の充実、並びに、市民の健康づくりを通して、高齢者や障害のある皆さんが、幸せを感じて、暮らして頂ける施策、文化の香り高く、スポーツを通して、健全な身体と精神の育成を進めるとともに、名鉄西尾蒲郡線の存続に努め、合せて、蒲郡の魅力づくりとして、話題性の高い、スポーツに関連するイベントへの取組みを考慮に入れながら、新しい魅力のある町づくりに一歩ずつ取り組んでまいりたいと考えております。

これらの施策を進めるにあたっての、取り組む姿勢についてであります。これまでも「スピード感、フットワーク、現場主義で」を市職員に徹底してまいりましたが、その上に更に、誠意をもって、全力で職員共々、取り組んでまいります。

子どもたちには、将来の蒲郡に夢を持ってもらえる町に、若い人たちには、住みたくなる町、住んでみたくなるような、魅力ある町に、高齢者の皆さんには、蒲郡に住んで良かったと、思ってもらえる町に、市民の皆さん、市議会議員各位、並びに市職員と共に、力を一つに、進めて行くことを御誓い申し上げるとともに、引き続きのご支援とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。私の 2 期目にあたっての所信表明とさせていただきます。ありがとうございました。